



子供たちの笑顔と 幸せのために

鹿児島県PTA連合会

会長 太田 敬介

明けましておめでとございます。この2年間、「コロナで思うようなPTA活動ができず、役員の皆様はじめ、多くのご苦勞があったかと思えます。また、そもそもPTAとは何なのだろう、PTAが果たすべき役割とは何なのか、改めて考え直すこともあったのではないでしょうか。

思い返すと、私もPTA活動に携わり始めた頃は、一つ一つのルールや活動の意義・目的が分からず、悩んだこともありました。そんな時にPTAの先輩から投げかけられた忘れられない一言があります。

「PTA活動とボランティア活動は違うよね」

よく意味が分からず、深くも考えず「はあ」となんとなく返事をしたように記憶をしています。その後、この言葉が頭から離れず、その意味することを考えていくうちに、自分なりの解釈が生まれ、いろいろなことに気づかされ、それからのPTA活動に対する軸足が定まってきたように思います。

PTAは戦後発足し、社会教育関係団体として、子供たちの笑顔と幸せのために多くの活動を積み重ねてきました。併せて、我々大人の学びとして研修の場を設け、家庭教育の充実に努め、行事や話し合い活動を通して教職員と保護者のコミュニケーションを深め、学校教育と家庭教育の連携を推進してきました。それらは、これからも変わることなく果たしていかなければならない、私たちPTAの大切な役割ではないでしょうか。「コロナを越えて、これからも、共に力を合わせて進んでいきたいと思います。」